

# 選手の登録制度の 変更について

(参考資料)

2024年3月21日  
(公財) 日本ラグビーフットボール協会

## ■ 2024年度からの登録制度の変更について

### 選手の登録に関する制度の変更及び 「チーム登録等に関する規程」の改正について

ラグビーをより「活性化」させていくため、「プレー機会の拡充と競技人口減への対応」の観点から、2024年度より以下の導入が2月14日のJRFU理事会にて承認され、2024年4月1日より施行となります。

#### <規程の変更>

- ① 高校及び高専への複数登録の導入
- ② 社会人及びクラブへの複数登録の導入
- ③ クラブの登録対象年齢を15歳以上（中学生は除く）に変更（高校世代を登録可能とする）

#### <運用の変更>

- ④ 高校及び高専にラグビー部がない学生の登録受入れ  
（各都道府県協会に、登録用の受皿となるチームを設定し対応）

詳細は次項の「新旧対照表」をご参照ください。

## ■新旧対照表

<規程（「チーム登録等に関する規程」）の変更> ※2024年4月1日施行

現行規定	新規程
第4条（10） ※クラブの対象年齢 クラブ 満18歳以上の者により構成された	満15歳以上（ただし中学生は除く）の者により構成された
第12条 ※複数登録へと文言の統一 重複登録	複数登録
第12条 2 ※複数登録対象カテゴリー 前項の規定は、当分の間、中学生チーム又は女子チームの選手が、	前項の規定は、当分の間、中学生、高校、高専、社会人、クラブ又は女子の各チームに所属するの選手が、
第12条 4 ※追加 実務の詳細はガイドラインにて運用。他の規程を参考に円滑なガイドライン運用を目的として追加	Chief Development Officerは本条の規定に関する手続きの運用の細則、その他手続きに関する必要な事項を、ガイドライン、内規、その他規則として定めることができる。

<運用の変更>

現行運用	新運用
高校にラグビー部がないと、プレーを希望しても、選手登録ができない（選手はチームに所属しないと登録できない）	高校にラグビー部がないが、プレーを希望する場合、都道府県協会が選手登録の受皿となるチームを登録システム上に設定し、選手登録を受け入れる。  目的：中学までラグビーをプレーしていた選手が、進学先の高校にラグビー部がないためラグビーをやめるケースが散見されるので、その対応として導入。

## ■チーム種別の再編成について

年齢 (目安)	0~12	13~15	16~18	19~22	23~
組織	小学生	中学生	高校	大学	社会人
			高専		
コミュニティ	ラグビースクール		※1		
			※2	クラブ	
	女子				
				学生クラブ	

※1 2023年4月よりラグビースクールでの年齢制限を18歳以下に変更

※2 2024年4月よりクラブでの年齢制限を15歳以上に変更

※3 複数登録の制限を緩和 (ex. 高校-クラブ、高校-ラグビースクール、社会人-クラブ など)